

りそな 経済フラッシュ

(日米欧 Market View : 半導体市場 Monthly (2024年8月))

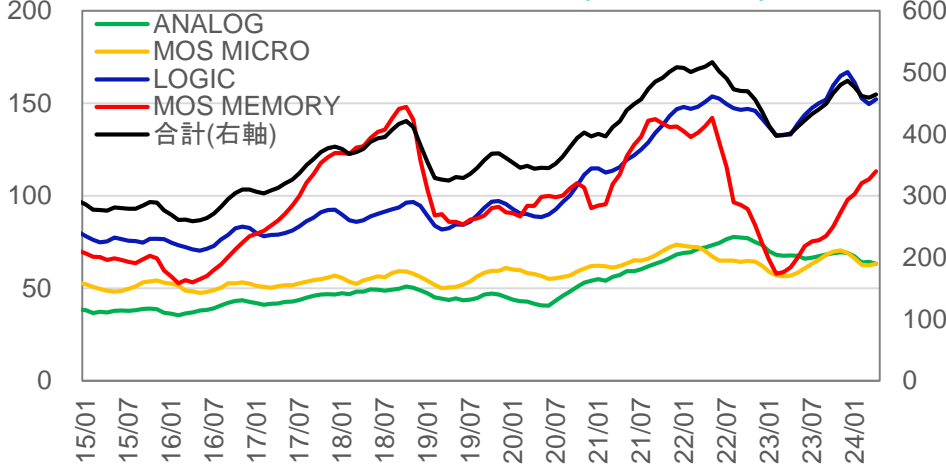
◎注意事項をよくお読み下さい



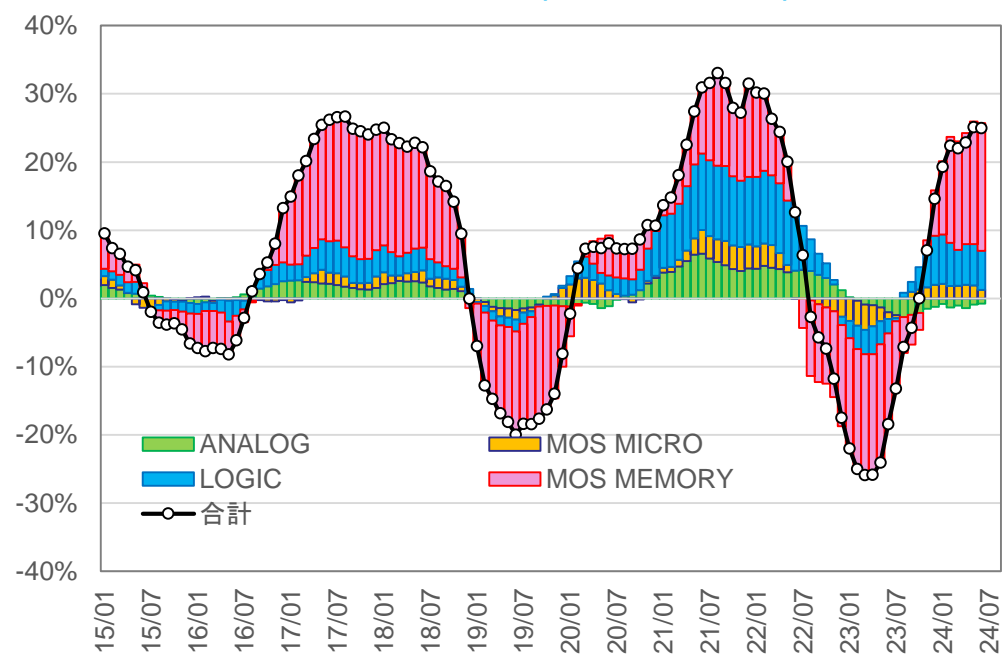
○6月世界半導体出荷額：LOGICの好調とMEMORYの回復が続く

- ▶ WSTS(世界半導体市場統計)によると、6月の世界半導体出荷額(振れが大きいいため3ヵ月移動平均値)は、前年比+24.9%(前月：+25.1%)と前月から横ばいと高水準を維持した(図表1~2)。主な種類別の動向をみると、LOGICが引き続き好調で前年比+13.7%(前月+14.4%)、MEMORYは昨年3月を底とする回復傾向が継続し、前年比+88.1%(前月+89.5%)となった。
- ▶ 前月から引き続き、AIへの注目が集まる中、その恩恵を受けやすいLOGICやMEMORYの好調が目立った。なお、米国では景気減速懸念も台頭してきており、それは依然として低調な自動車用途等へ追い打ちをかける可能性がある。もっとも、2Pで詳述するが、米巨大テック企業を中心に、引き続きIT投資が旺盛である。背景には、AIを巡る競争で主導的な地位を築くこと(メタのザッカーバーグCEO)等があるとみられる。マクロな経済環境が悪化する中でも、潤沢な資金を抱える巨大テック企業はAIを巡る競争で他社に優位に立つため、巨額の投資を続ける可能性がある。ここもと、株式市場ではボラティリティが高まっているが、景気不安等からAI関連銘柄が業績等と無関係に大きく売られた場合には、中期的に見て押し目買いの好機とみてよいだろう。

(億ドル) 図表1: 世界半導体出荷額の推移 (3ヵ月移動平均) (億ドル)



図表2: 世界半導体出荷額 (YoY, 3ヵ月移動平均)



注: ICのみ集計 出所: WSTS

◎注意事項
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

りそな 経済フラッシュ

(日米欧 Market View : 半導体市場 Monthly (2024年8月))

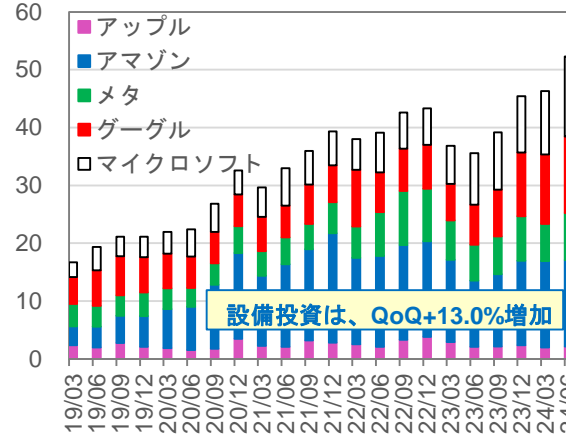
◎注意事項をよくお読み下さい



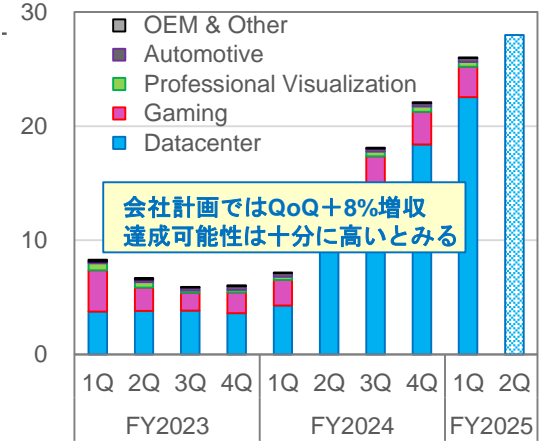
◎今後の注目ポイント：エヌビディアの決算

- ▶ 半導体関連株は、7月中旬に、バイデン政権が対中半導体規制強化検討と報じられて以降、その後も米景気後退懸念の台頭等ネガティブなニュースが続き、調整色を強めている。
- ▶ もっとも、一口に半導体関連株といっても、設計を行う企業や、製造を受託する企業、製造装置メーカー等様々である。更には、設計を行う企業一つとっても、データセンター向け、自動車用途向け、産業用途向け等、各企業の注力領域は様々である。マーケットの地合いが悪いために、いずれの銘柄も軒並み下落しているが、一部企業の株価は、ファンダメンタルズからは割安感が見受けられる。
- ▶ 割安感があるのは、1Pで指摘した通り、主要テック企業の巨額IT投資の恩恵を受けるAI関連銘柄である。特に、8/29に決算発表予定のエヌビディアに注目している。既に決算を終えた主要テック企業の設備投資はQoQ+13.0%であった(図表3)。なお、半導体製造受託大手TSMCの売上高はQoQ+13.6%であった。同社の会社予想はQoQ+8%だが(図表4)、十分達成可能とみる。加えて、ハイテク株のバリュエーション判断に用いられるPEGレシオ(PER÷EPS成長率)において、同社は0.8倍と割安判断の目安1倍を下回っている(図表5)。
- ▶ 以上から、エヌビディアの株価は決算発表に向けて、期待先行で株価が上昇する公算が大きい。その場合、過去のアノマリーからは、つられてNASDAQ100や日経平均株価は上昇してきた。足元で、リスクオンムードが広がっているため、従来ほどは上昇しない可能性もあるが、良好な決算が示されれば、安心感が広がり、反動も相まって大きく上昇する可能性もあるだろう(図表6)。

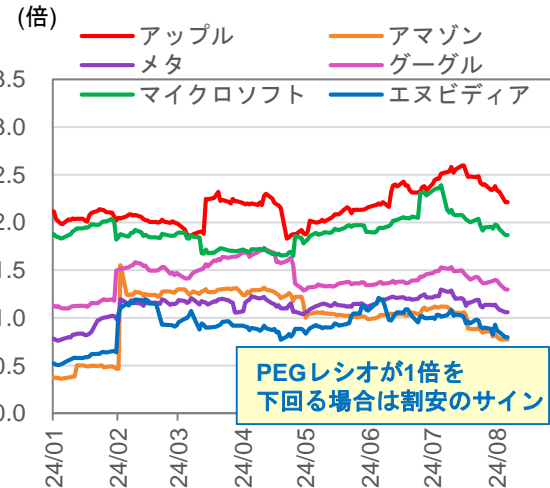
(10億ドル) 図表3：メガテックの有形・無形資産取得額



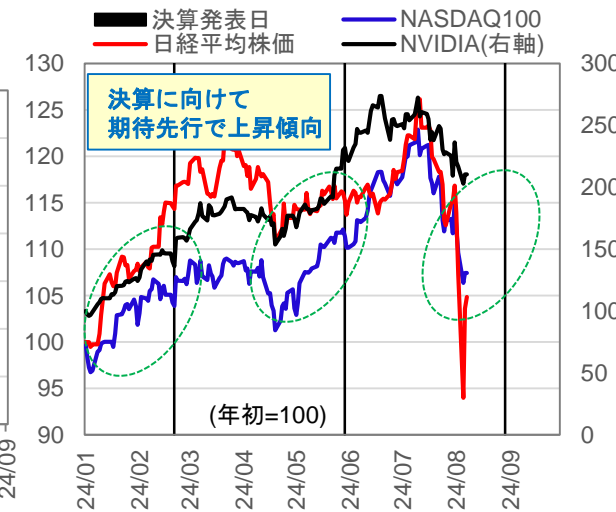
(10億ドル) 図表4：エヌビディアの売上高推移



図表5：米メガテックのPEGレシオ



図表6：エヌビディアの決算とアノマリー



出所: Bloomberg

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

りそな 経済フラッシュ

(日米欧 Market View : 半導体市場 Monthly (2024年8月))

◎注意事項をよくお読み下さい

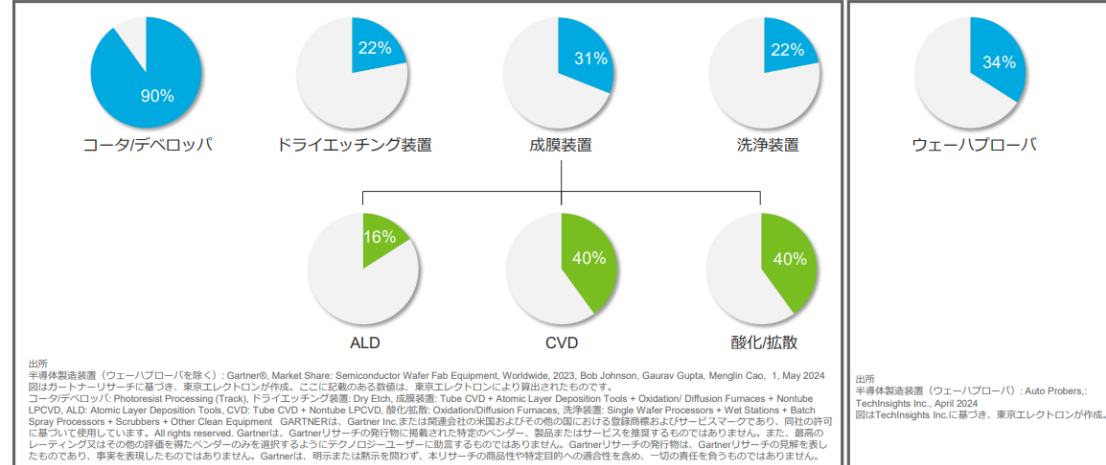


○(参考) 東京エレクトロンの決算 : 非常に良好で日経平均株価に特にポジティブ

- ▶ 日本の主要企業のうち、半導体関連銘柄という点、半導体製造装置メーカーが多くを占める。中でも、東京エレクトロンは、ファーストリテイリングに次いで、2番目に日経平均株価でウェイトの大きい銘柄で、10%弱を占めている。
- ▶ 同社について概要を述べると、東京エレクトロンは、世界で4番目に売上高の大きい半導体製造装置メーカーで、コータデベロッパと呼ばれる装置に至っては90%以上のシェアを誇る。こうした高い競争力を背景に、製品の輸出を円建てで行っている点も同社の強みである。
- ▶ 同社は8月8日に決算発表を行ったが、前述の理由から、市場の注目度も非常に高いイベントであった。
- ▶ 決算内容を子細に確認すると、売上高は前年比+41.7%、経常利益は同+101.6%増、配当金の増額(一株当たり393円⇒519円)、今期会社計画については、売上高+4.5%、経常利益+7.9%の上方修正となった。市場の期待を大きく超える堅調な決算となり、時間外で株価は10%以上、上昇した。
- ▶ 同社の決算資料によると、事業環境は、旺盛なAIサーバー向け投資が継続する他、PC・スマートフォン向けの稼働率も着実に回復基調である等、良好な事業環境が続く見通しで、これは筆者の見通しとも一致する。
- ▶ 今後の日本株を展望する上では、米景気後退懸念や日銀の金融政策動向とそれに伴う為替変動がリスクである。もっとも、前者については、日米の堅調な決算実績から、徐々に後退しつつある。後者について、現時点でもリスク要因であり、連日為替は激しく変動しているが、東京エレクトロンの様に、指数ウェイトが大きく、かつ、今後の展望の明るい企業が、こうした変動と無縁であることは、日経平均株価の下支え要因となろう。

図表1 : 東京エレクトロンの製品別シェア

主要プロダクト 世界市場シェア (CY2023)



出所: 決算説明資料

図表2 : 東京エレクトロンの決算実績

■主要経営成績(連結, 百万円)

	売上高		経常利益	
	実績	前年比	実績	前年比
FY2024 1Q	555,071	41.7%	167,398	101.6%
FY2023 1Q	391,746	-17.3%	83,046	-29.4%

■配当の状況(一株当たり)

	年間配当金	
	実績	前年比
FY2024(予想)	519	32.1%
FY2023	393	-

■主要経営成績予想(連結, 10億円)

	売上高		経常利益	
	予想値	前回比	予想値	前回比
今回予想	2,300	4.5%	630	7.9%
前回予想	2,200	-	584	-

出所: 決算短信

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい



りそな 経済フラッシュ

(日米欧 Market View : 半導体市場 Monthly (2024年8月))

■バックナンバー(直近発行レポート30本)

No	発行日	テーマ	タイトル
25	2024/6/10	半導体, 米国株	日米欧 Market View : 半導体市場 Monthly (2024年6月)
26	2024/6/13	米国経済	日米欧 Market View : 5月CPI
27	2024/6/13	米国経済	日米欧 Market View : 6月FOMC
28	2024/6/14	日本株	日米欧 Market View : 日本株需給
29	2024/6/19	米国経済	日米欧 Market View : 5月小売売上高
30	2024/6/20	コモディティ	日米欧 Market View : 銅価格
31	2024/6/21	日本株	日米欧 Market View : 日本株需給 (6月10日~6月14日)
32	2024/6/25	日本経済	日米欧 Market View : 5月賃金オルタナティブデータ~HRog賃金Now
33	2024/6/25	米国株	日米欧 Market View : SP500は楽観シナリオの下で6,200ptへ
34	2024/6/27	日本経済	日米欧 Market View : 5月物価オルタナティブデータ~日経CPINow
35	2024/6/27	日本株, 米国株	日米欧 Market View : 7月日米株バリュエーション~日本: 中立、米国: 強気
36	2024/6/27	日本株	日米欧 Market View : 日本株6月セクター動向と7月見通し
37	2024/7/5	日本株	日米欧 Market View : 日本株需給(6月24日~6月28日)
38	2024/7/8	日本株	日米欧 Market View : 6月雇用統計
39	2024/7/12	日本株	日米欧 Market View : 日本株需給(7月1日~7月5日)
40	2024/7/16	米国経済, 米金利	日米欧 Market View : 6月CPI
41	2024/7/16	半導体, 日本株	日米欧Market View : 半導体市場 Monthly (2024年7月)
42	2024/7/19	欧州経済	日米欧Market View : ECB<欧州中央銀行>理事会
43	2024/7/22	日本株	日米欧 Market View : 日本株需給(7月8日~7月12日)
44	2024/7/26	日本経済	日米欧 Market View : 6月賃金オルタナティブデータ~HRog賃金Now
45	2024/7/26	日本経済	日米欧 Market View : 6月物価オルタナティブデータ~日経CPINow
46	2024/7/26	日本株	日米欧 Market View : 日本株需給(7月16日~7月19日)
47	2024/8/1	日本株	日米欧 Market View : 日本株7月セクター動向と8月見通し
48	2024/8/1	欧州経済	日米欧 Market View : ユーロ圏GDP統計
49	2024/8/1	米国経済	日米欧 Market View : 7月FOMC
50	2024/8/2	日本株	日米欧 Market View : 日本株需給(7月22日~7月26日)
51	2024/8/2	米国経済	日米欧 Market View : 7月ISM製造業景況感指数
52	2024/8/2	日本株, 米国株	日米欧 Market View : 8月日米株バリュエーション~日本: 中立、米国: 強気
53	2024/8/5	米国経済	日米欧 Market View : 7月雇用統計
54	2024/8/5	欧州経済	日米欧 Market View : 7月ユーロ圏物価動向

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。